

秋川・平井川流域のジオサイト

1. 黒瀬川帯のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
モノチス化石産地	日の出町大久野岩井貝 沢入口 岩井バス停	三畳紀の準化石モノチスの産地。東京都天然記念物だが現状は標柱のみ。	○
白倉石採石場跡	日の出町大久野水口白 倉沢上部 風巻林道	白倉石は塩基性火山砕屑物と混濁したり美しく成層した石灰岩で、国会議事堂の議員食堂暖炉の化粧板に使用。林道のみで観察可。	△
坂本の蛇紋岩露頭	日の出町大久野坂本 秋 川街道角の石仏左折 500m	蛇紋岩は地球内部のマントル物質(かんらん岩)が断層などを通って変成しながら地表に上昇して来た岩石。小露頭なので採集は慎みたい。	○

2. 秩父帯のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
ピリ窪沢の枕状溶岩	あきる野市上養沢 上養 沢バス停から約2.6km	ピリ窪沢には遠洋のホットスポット火山島起源の岩石が分布。ホットスポットから海底に噴き出た玄武岩が急冷されて枕状に積み重なった。	○
ピリ窪沢のソーメン滝	あきる野市上養沢 上養 沢バス停から約2.8km	チャートは珪質の殻を持つプランクトンの死骸が堆積した硬い岩石。層状チャートがつくる高さ8mの美しい滝。	○
大岳沢の層状チャート	上養沢 大岳鍾乳洞入口 バス停から約800m	一枚の厚さ約5cmの、厚く重なったチャート層が激しく褶曲している。2019年19号台風後に出現。道路から眺められる。	○
大岳鍾乳洞	上養沢 大岳鍾乳洞入口 バス停から約2.1km	東京都天然記念物。全長1002mのうち一般公開部分は300m。鍾乳石や石筍がみごと。三つ合鍾乳洞と養沢鍾乳洞は現在閉鎖中。	○
千年の契り杉	あきる野市深沢 武蔵五日 市駅から約3.0km	巨木「千年の契り杉」がある一帯には石灰岩が分布し、沢沿いの地層は砂岩から石灰岩に変化する。巨木の上部に露頭がある。	○
山抱きの大カシ	あきる野市深沢 武蔵五日 市駅から約2.7km	巨大な樫の木の根が石灰岩を抱く。石灰岩には酸性の水の水流が岩を溶食した跡＝カレンフェルトが見られる。	○
自然人村の滝	あきる野市深沢 武蔵五日 市駅から約1.6km	小さな滝だが、周囲の岩石は砂岩、泥岩、塩基性火山砕屑物が基質の礫岩など多彩。	○
南沢の鳥の巣石灰岩	あきる野市深沢 武蔵五日 市駅から約2.8km	鳥の巣石灰岩はジュラ紀末に付加した沿岸性の石灰岩。層孔虫や六射サンゴの化石を多く含む。東京都天然記念物。深沢小屋の裏に露頭。	○
沢渡橋下の秋川川原	あきる野市小中野 沢渡 橋バス停すぐ	秩父帯と四万十帯の両方の石が見られ、石ころ観察に最適。川原にはチャート礫を取り込んだ塩基性砕屑岩や不思議な黒い帯も露出。	○
小和田のチャート峡	あきる野市小和田 小和 田バス停から1km	硬いチャートがつくる険しいゴルジュ渓谷。時期にはイワタバコの花が美しい。アプローチはヤブで沢通し。	△
金毘羅山の天狗岩	あきる野市入野・五日市 武蔵五日市駅から約 2.5km	金毘羅山はチャートの小岩体がピークをつくる。山頂には大岩が屹立している。展望台からの五日市盆地の眺望も良い。	○やや 健脚
網代弁天山	あきる野市網代 武蔵増 戸駅から約2.2km	弁天山は第三紀層の中に局所的に隆起したチャート山。隆起の際のストレスを受けてチャートの見かけは礫岩状。山頂から東方の眺望が良い。	○
網代弁天洞窟	あきる野市網代 武蔵増 戸駅から約2km	非常に珍しいチャート洞。奥行方向に走る2本の断層に沿って崩れ、人の手も加わって洞窟に。堂内には日本最古の石像大黒天。	○
トハの大岩 オウの大岩	日の出町三ツ沢 日の出 山登山口バス停から	焼岩沢林道入口部にそびえるチャートの絶壁が「トハの大岩」、長い砂岩帯の後に現れる最奥のチャートが「オウの大岩」。	○
岩垂沢の異地性岩体	日の出町大久野三ツ沢 日の出山登山口バス停 から300m	岩垂沢は焼岩沢入口部のチャートと砂岩に挟まれた狭い谷。チャートに取り込まれたように石灰岩、塩基性火山岩などの遠洋火山島起源岩石がパッチ状に分布。	△やや 危険
チャート巨石積みの景観	日の出町大久野三ツ沢 から松尾	熊野神社石垣をはじめとする沿道の家々の石積みは日の出町大久野山村部のアイデンティティを醸成。	○
一の護王神社	日の出町肝要 一の護王 下バス停すぐ	チャートを積んだ高い石垣。平井川は神社の乗るチャート岩体を避けて大迂回する。	○
白岩の滝	日の出町大久野松尾 白 岩の滝入口バス停から 800m	タルクボ沢の中流域には大小17もの滝がかかる。そのうちの大きな三つの滝が「白岩の滝」で、いずれも岩は砂岩。	○
巨石「亀石」	日の出町大久野松尾 白 岩の滝入口バス停すぐ	民家の横に鎮座する巨大なチャート礫。大昔の土石流がここまで運んだものか？	○
勝峰山のカルスト地形	日の出町大久野岩井 岩 井バス停から約2km	勝峰山には石灰岩の大きな岩体が分布し、石灰岩がすり鉢状に溶食されたドリーネやカレンフェルトなどの溶食地形が観察できる。	○

巨石「俊穎石」	日の出町大久野幸神 大久野中学校バス停から	河岸段丘上の畑に埋まっていたチャートの巨岩。高さ3m径4.3m。	○
神戸岩	檜原村神戸 神戸岩入口バス停から約1.7km	神戸川上流赤井沢の峡谷。硬いチャートが高さ90mもの絶壁を形成。	○
柳沢の滝	檜原村三都郷千足 千足バス停から綾滝まで約1.8km	千足から馬頭刈尾根の稜線に至る柳沢登山道を登ると三つの見事なチャート滝が見られる。下から小天狗滝、天狗滝、綾滝。	○やや健脚
北秋川の石灰岩溪谷	檜原村三都郷 やすらぎの里バス停すぐ	弘沢の滝駐車場からやすらぎの里で川沿いに遊歩道がある。石灰岩溪谷はそのうちの150mほど。溶食した奇岩の景観が楽しめる。	○

3. 四万十帯のジオサイト(仏像構造線・五日市-川上構造線関連を含む)

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
刈寄の断層露頭	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から500m	四万十帯の千枚岩と秩父帯の砂岩が接し、その間にはカウジ(断層粘土)が見られる。アプローチにやや難。	△
刈寄の滝	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から800m	四万十帯の千枚岩にかかる滝。切通しの手前を降りる。道も見学できるスペースも狭く、やや危険。	△
刈寄の切通し	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から800m	刈寄林道の切通し。道の両側は千枚岩の壁。千枚岩は断層運動の圧力を受けて薄くはがれやすくなったような岩石。	○
港区民の森	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から2.2km	縦横に延びる林道は四万十帯の砂泥互層の全面露頭。離れた地点の地層のつながりを推定することができ、地層の学習に最適。	○
逆沢	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から500m	逆沢—川口川を結ぶ線は仏像構造線。四万十帯、秩父帯の両方の岩石が現れる。西に逆らって流れる不思議な沢。	○
金剛の滝	八王子市今熊 沢渡橋バス停から1.8km	手前に落差4mの雌滝、トンネルを抜けると18mの雄滝がある。雄滝の左には不動明王が立つ。	○
戸倉城山	あきる野市戸倉 戸倉バス停から1.5km	山の南側、光厳寺經由登山道の途中を構造線が通る。ピークは秩父帯の砂岩。山頂からの東方の眺望は抜群。	○
戸倉の横井戸	あきる野市戸倉 戸倉バス停から500m	雨水は崖縫いに浸透し、基盤岩が不透水層となって地表下を流れる。言わば「見えない沢」から取水する珍しい井戸。	○
盆堀川高橋の溪谷美	あきる野市戸倉 沢渡橋バス停から400m	高橋は盆堀川下流の橋。両岸はほぼ水平に層理面が浮き出た千枚岩の崖。川原への降り口にはやや難あり。	△増水時不可
中山の海底地すべり	檜原村下元郷 和田向バス停すぐ	秋川本流の川床の地層は白黒の縞模様美しい四万十帯の砂泥互層。海底斜面の地すべりによって地層が折りたたまれたスランピングが見られる。上の土産物店から見下ろせる。	○
中山の滝	檜原村下元郷 和田向バス停から400m	秋川の激流が四万十帯の砂泥互層を削りこみ、緩傾斜の滝をつくっている。このあたりの岩は白黒の縞模様が美しい。	○
南北秋川合流点と仏像構造線露頭	檜原村本宿 中本宿バス停すぐ	合流点すぐ上の北秋川は切り立った岸壁の凄絶な溪谷美。仏像線の露頭には幅6mもの破碎帯が。見学は川通し。	△川通し
弘沢の滝	檜原村本宿 弘沢の滝入口バス停から700m	「日本の滝百選」。仏像構造線はこのあたりでは西北西—東南東に走っており、弘沢の滝を通る。滝までの川床は秩父帯の砂岩や砂泥互層。	○
北秋川の大屈曲	檜原村小沢 宝蔵寺バス停すぐ	東流して来た北秋川はここでヘアピンカーブを描き、北西へ流れを変える。仏像構造線がここを通るが、護岸のため断層そのものは見えない。	○
華水の滝	檜原村樋里 竹本バス停から500m	東西方向(このあたりでの五日市-川上構造線の走行)にすっぱり切れ落ちた広い面が存在することから、断層に起因する滝と考える。	○
龍神の滝	檜原村数馬 温泉センターバス停から200m	支流が本流に合流する所では滝ができやすい。支流よりも本流の侵食力が強く、支流の出口に段差が生じるため。	○
九頭竜の滝	檜原村数馬 大平入口バス停すぐ	石英閃緑岩マグマは川を横切って貫入している。マグマは上昇時に膨張し、冷却時に収縮するため節理が生じやすい。ここでは垂直方向の節理が滝の成因となっている。	○
夢の滝	檜原村数馬 奥多摩周遊道路入口バス停から200m	滝をつくっている岩は四万十帯の砂岩。地層の走行に沿って、水流によって樋状に削られた滑滝。	○
三頭山の石英閃緑岩とホルンフェルス	檜原村都民の森 都民の森バス停から1.0km	約750万年前、この地域にマグマが貫入して三頭山を隆起させた。石英閃緑岩はその時のマグマ。マグマの熱は周囲の堆積岩に接触して熱変成させた(ホルンフェルス)。	○
三頭大滝	檜原村都民の森 都民の森バス停から1.0km	都民の森・森林館から地層観察しながらセラピーロードを20分ほど歩けば滝見の橋に出る。滝は落差約35mで、濡れた岩肌に砂泥互層の縞模様が美しい。	○

4. 五日市町層群のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
--------	----------	---------	------

秋川の五日市町層群	あきる野市小和田橋下流から網代橋あたりまで	「五日市町層群」は約1600～1500万年前の120～130万年間の堆積物。秋川本流を横切る五日市町層群は、西から東へ向かってより新しい時代になる。小和田橋下流から秋川橋下流の小庄泥岩部層、錦江閣から石舟閣の館谷泥岩部層、高尾橋下の高尾凝灰岩部層、亀の甲下の伊奈砂岩部層と横沢砂岩部層、釜淵の網代層。スランピング、ポットホール、ソールマーク、差別侵食などの多彩な地質現象と伊奈石の採石跡を観察し、化石採集も楽しめる。	○増水時不可
三内溪谷の五日市町層群	高尾橋下の本流との合流点から南聖園上流まで	下流から上流へ、高尾凝灰岩部層→館谷泥岩部層→小庄泥岩部層→幸神礫岩部層と、より古い時代になり、最後は秩父帯との不整合も目撃できる。観察できる露頭は多く、特に炭酸塩コンクリーションした地層の連なりが興味深い。	△ほぼ沢通し
伊奈丘陵の褶曲地形	あきる野市横沢横沢入 武蔵増戸駅から1.3km	横沢入を取り囲む「C」の字を描いた山々は、侵食に強い伊奈砂岩部層が骨格になっており、五日市町層群の褶曲を地形に反映している。	○
横沢入の伊奈石採石遺構	あきる野市横沢横沢入 武蔵増戸駅から1.3km	採石遺構は横沢入を取り囲む山々の全域に遺るが、特に天竺山東尾根遺構群(富田林道から石山池)がおすすめ。天竺山山頂からは東方の眺望が良い。	○
樽沢の滝	あきる野市入野 武蔵五日市駅から500m	小庄泥岩部層分布地だが断層により館谷泥岩部層がここに飛び地して分布している。泥岩が削られた滑滝。アプローチはヤブ。	△
西沢の滝とポットホール	あきる野市五日市 五日市郷土館の裏	五日市郷土館の裏に出て来る小さな沢。岩は幸神礫岩部層で、侵食に強い礫岩が滝を造り、柔らかい砂岩が削られて丸いポットホールの滝つぼとなる。	○
玉の内の鐘子石(かんすいし)	日の出町大久野玉之内 落合バス停から1.0km	玉の内会館の前庭に置かれる玉石で径1.5m。「新編武蔵風土記稿」にもその記載がある。館谷泥岩部層中のノジュールと考えられる。	○
羽生溪谷	日の出町大久野羽生橋から諏訪下橋まで	地層は川にほぼ並行して走っており、小庄泥岩部層と館谷泥岩部層が見られる。火災構造など、ここでしか見られない地質現象もある。	△ほぼ沢通し
御殿橋の幸神礫岩部層	日の出町大久野幸神 大久野中学校バス停から250m	幸神礫岩は、約1600万年前に海ができたはじめた頃に最初に堆積した地層。礫径が大きいほど侵食に強く、高い崖を形成している。	○
於奈淵の高尾凝灰岩部層と不整合	日の出町平井平井橋 中平井バス停から500m	硬い高尾凝灰岩部層が川の流れに直交して走っているため滝ができた。滝よりやや下流に露出する上総層群との時代差は約1200万年(不整合)。	○増水時不可
秋川流域ジオ情報室の化石	あきる野市戸倉しろやまテラス 戸倉バス停から300m	五日市町層群から産出した化石を400点以上収蔵し、そのうちのいくつかを常時展示している。	○

5. 上総層群のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
六枚屏風	あきる野市漕上 引田バス停から1.2km	加住層(約300～200数十万年前)の地層が秋川の洪水時の激流により横から、雨により上から侵食されて屏風のような崖を造る。	○
秋川丘陵ハイキングコース	あきる野市牛沼から網代八王子市との境界尾根	加住丘陵の尾根を歩く。適度なアップダウンがある。北面は加住層の地層が侵食されてできた急峻な崖となっており、多少のスリルも味わえる。	○
多摩川-平井川合流点	あきる野市平沢下川原 多摩橋バス停から600m	砂利が払われ、基盤の上総層群の地層が広く露出するときもある。大荷田層または加住層下部。アケボノゾウ臼歯化石が発見された。	△川通し
牛沼秋川神社東の露頭	あきる野市牛沼 牛沼バス停から300m	秋川神社の東に延びる崖の下部に上総層群の地層が露出。加住層よりも下位の、上総層群が溜まり始めた時代の地層と考えられる。	○夏はヤブ
五日市出張所のミエゾウ化石展示	あきる野市五日市 上町バス停から200m	昭和53年に網代のごみ処分場建設の際に発見されたステゴドン・ミエンスの上腕骨、尺骨、肋骨、環骨、臼歯などや発掘風景の写真を展示。	○
野鳥の森自然公園	日の出町平井谷ノ入 三吉野バス停から1.1km	自然公園内の沢は、源頭部の小沢であるにもかかわらず大きな円礫がごろごろしている。これらは大荷田層起源の礫。	
東光院と妙見宮	日の出町平井宮本 中宿バス停から1km	東光院から妙見宮まで登れば草花丘陵の高さが実感できる。登山路に大荷田層が見え、山頂からは加住丘陵とあきる野台地の眺めが良い。	○
宝光寺墓地の大荷田層	日の出町平井塩田 霊園バス停から500m	墓地を囲む壁には200数十万年前の大荷田層、1500万年前の高尾凝灰岩部層、段丘礫層が露出し、地層観察に良い。	○
於奈淵の友田層と化石埋木	日の出町平井平井橋 上平井バス停から300m	於奈淵の下流に露出する青灰色のシルトや黄灰色の小角礫の地層は、大荷田層の下位にある友田層？木化石が出ることもある。	△小さな沢を渡る

6. 留原層のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
小机まいまい露頭とOn-Pm1	あきる野市三内小机 武蔵五日市駅から500m	まいまい坂南の杉林に9万数千年前の御嶽第一テフラが見える。2019年の19号台風でさらにその南側が全面崩壊し、第一段丘の完全な断面が現れた。	△
小機のV字谷	あきる野市三内小机 武蔵五日市駅から600m	「留原層」は秋川が現在の段丘を造り始める前の時代(約10万年前から数万年前)に盆地を埋めていた湿地堆積物や場所によっては河川礫の地層。三内川の支流の沢の出口にそれらがV字状に削られた谷がある。	△
宮ノ入沢の化石埋木	あきる野市高尾 五日市高尾バス停から500m	高尾神社裏の留原層に埋まった杉の巨木。時代は11~7万年前で、やや温暖湿潤な環境。	○
天王沢奥の留原層と立川ローム	あきる野市高尾 五日市高尾バス停から1.3km	旧老人ホームの裏のあたり。沢沿いの斜面に留原層の堆積ラミナ(葉理)が見える。アプローチはヤブ。さらに進むと厚い立川ローム層の崖。	△
高尾天王橋の泥炭層	あきる野市高尾 五日市高尾バス停から900m	橋の近くの斜面に、そのあたりのその高さが湿地環境だった時代に堆積した泥炭層が見える。足場は悪い。	△

7. 段丘と湧水のジオサイト

ジオサイト名	場所・アプローチ	意義・見どころ	安全性等
留原の崖	あきる野市留原 武蔵五日市駅から1km	留原の、秋川に面した崖。第二段丘の断面が露出し、下から基盤の第三紀層、留原層、段丘礫層のすべてが見える。アプローチも足場も悪い。	△
平沢の平井川沿いの湧水	あきる野市二宮 二宮バス停から500m	平井川右岸の擁壁の下から湧水が染み出し、小湿地をつくっている。快適な散歩道で、ジョギングの人も多い。	○
小川の湧水群	あきる野市小川東 小川バス停すぐ	陸橋通り沿いには池のある家が点在。湧水は8000年前の離水面と4000年前の離水面の境から染み出す。	○
二宮のお池	あきる野市二宮 二宮バス停すぐ	秋留台面と小川面の境から豊富な湧水が湧き出る。ここから舞知川の流れを辿って散策するのも良い。	○
八雲神社の湧水	あきる野市野辺 東秋留駅から250m	神社は野辺面と小川面の境に位置する。澄んだ湧水を集めた池には鯉やカワムツが泳ぐ。	○
淵上の石積み井戸	あきる野市淵上 原店バス停から500m	開戸センターの裏に小さなまいまい井戸がある。石積みには伊奈石の水車臼も組み込まれている。	○